

7月28日は世界肝炎デー

肝炎ウイルス検診を受けて、 早期発見・早期治療！



◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765

世界保健機関（WHO）は、世界的なウイルス性肝炎のまん延防止や、患者・感染者に対する差別・偏見の解消、感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を世界肝炎デーと定めています。

ウイルス性肝炎ってどんな病気？

肝炎は、肝臓の細胞が破壊され、肝臓に炎症が起きる病気です。日本では、ウイルス性肝炎が大半を占め、特にB型・C型肝炎ウイルスは患者・感染者数が300万人以上にのぼる国内最大の感染症といわれています。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、熱や痛みなどの症状はほとんどなく、気付かないうちに肝硬変や肝がんに進行することがあります。

感染しないために

感染を防ぐため、他人の血液に触れないようにしましょう。なお、握手やくしゃみ、食器、風呂、トイレの共用で感染することはありません。

早期発見・早期治療のために 検診を受けましょう

肝炎の早期発見・治療のためには、検診を受けることが大切です。肝炎に感染していても、早期治療で重症化を防ぐことができます。

市では、節目年齢に到達する人を対象に無料検診を実施しています。今年度の対象者には、クーポン券（黄色のがき）を送付しています。

●対象 40・45・50・55・60・65・70歳に到達する人で、今までに肝炎ウイルス検診を受けたことがない人

●検診場所 市・三股町の指定医療機関（クーポン券に記載）

●内容 血液検査

●利用期限 令和4年2月28日

●その他 受診の際は、必ずクーポン券を持参ください。紛失した場合は再発行します

7月は「愛の血液助け合い運動」1月間

安全な血液の安定確保のため、 献血に協力ください

◎問い合わせ 日本赤十字社宮崎県支部
都城市地区事務局（福祉課内） ☎23-2980

献血は身近なボランティア

病気治療や手術などで輸血を必要としている人に、健康な人の血液を提供することで、命をつなぐ献血。国内では、1日当たり約3千人が輸血を受けているといわれています。血液は、人工的に造ることもや長期保存ができません。このため、日本赤十字社が中心となって、血液提供のボランティアとも言える「献血」を、皆さんに呼び掛けています。

若い世代への呼び掛け

献血をする人は年々減少。特に400ミリの献血者が減少しています。このため、これから社会を支える若い世代への普及啓発に力を入れています。

新型コロナウイルス感染防止も万全

仮に緊急事態宣言が発令されたときも、輸血医療に使用する血液を確保するため、献血への協力は不要。不急の外出には当たりません。また、献血会場は、安全対策を徹底して、安心して献血できる衛生環境をつくっています。

献血に協力ください

献血は、常設会場の献血ルーム（カリノ宮崎・宮崎市橋通東四丁目8-1）のほか、県内を巡回する献血バスで実施しています。ぜひ、協力ください。

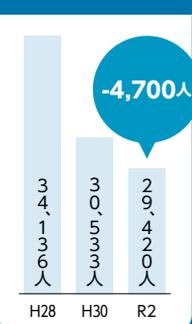


献血バスの運行スケジュール

日時や会場などは、宮崎県赤十字血液センターのホームページを確認ください。



県内の400mL 献血者数推移



問 宮崎県赤十字血液センター
☎0985-5011800